

平成15年9月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成15年8月12日

上場会社名 ジョルダン 株式会社

(コード番号: 3710 大証ヘラクレス市場)

(URL <http://www.jorudan.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 佐藤 俊和
責任者役職・氏名 取締役管理部長 湯澤 千克

TEL: (03)5369 4051

1 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2 平成15年9月期第3四半期の業績概況（平成14年10月1日～平成15年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (単位: 百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
15年9月期第3四半期	785	119	97	52
14年9月期第3四半期				
(参考) 14年9月期	1,074	237	235	130

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
15年9月期第3四半期	10 64	
14年9月期第3四半期		
(参考) 14年9月期	27 43	

(注) 1 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

2 第3四半期連結財務諸表は当第3四半期より作成しております。従って前年同四半期との比較については記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期連結会計期間（平成14年10月1日～平成15年6月30日）におけるわが国経済は、個人消費・設備投資の低迷、また海外における紛争や米国経済の先行きを巡る不透明感等により、企業を取り巻く経営環境も依然として厳しい状況が続いております。

ソフトウェア業界におきましても、企業のソフトウェア投資の抑制・先送り、公共投資の低調な推移等により、厳しい経営環境が続いております。また、旅行関連事業では重症急性呼吸器症候群（SARS）流行の影響を受けております。

しかしながら、ユビキタス化（インターネット環境の遍在化）の進展による、今後のソフトウェア需要の増加に期待が寄せられております。特に携帯電話につきましても、既に広く浸透しており、当社グループにおきましても、携帯電話向け「乗換案内」が平成15年5月には月間38百万検索を超えるなど、今後の事業展開の基盤を整えつつあります。

このような環境の中で、当第3四半期連結会計期間の経営成績は、売上高785,794千円、営業利益119,322千円、経常利益97,460千円、第3四半期純利益52,090千円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

(乗換案内事業)

乗換案内事業では、国内パソコン出荷の落ち込み等環境は依然厳しいものがあり、当社グループの主力製品であるソフトウェア「乗換案内」のコンシューマー向け商品である「乗換案内 時刻表対応版」の店頭販売パッケージおよびメーカー製パソコンへのプリインストール版がその影響を特に強く受け、売上が低迷いたしております。

しかしながら、東北新幹線の延伸及びびりんかい線と埼京線の直通運転開始等の鉄道路線の改変が、「乗換案内 時刻表対応版」のバージョンアップの需要を喚起し、その売上は好調に推移いたしました。

携帯電話向けの事業としましては、無料版の「乗換案内」へのアクセス数の増加により、広告売上は順調に推移しております。また、iモード向け「AD乗換案内」の機能拡張版である「AD乗換案内」(現

在は「乗換案内NEXT」)を有料で提供開始しており、その売上は概ね順調に推移しております。
 旅行関連事業に関しては、旅行商品を試験的に仕入・販売しており、売上高は増加しております。しかし、未だオンライン(インターネット・携帯電話)販売の本格開始には至っておりません。
 なお、人員増強と旅行関連事業における仕入が営業費用面に影響を与えております。
 以上の結果、売上高 666,794 千円、営業利益 288,157 千円となりました。

(マルチメディア事業)

マルチメディア事業では、ゲーム業界全体の消費不振の影響を少なからず受けておりますが、平成 14 年 12 月発売のゲームボーイアドバンス向けソフト「犬っこ倶楽部」および前連結会計年度の平成 14 年 9 月発売のゲームボーイアドバンス向けソフト「ファンシーポケット」については当初見込以上に追加の注文があり、そのため売上が継続しております。また、i モード向け「ハムスター倶楽部」の機能拡張版である「ハムスター倶楽部SP」もサービスを開始いたしました。

しかしながら、当第 3 四半期連結会計期間においては、新作ソフトの発売は「犬っこ倶楽部」のみであり、大きな売上とはなっておりません。一方、今後発売を予定しているソフトの開発費等は、当第 3 四半期連結会計期間の営業費用に含まれております。また、新規の事業であります電子出版におきましては、現状ではほとんど収益につながっておりません。

以上の結果、売上高 86,741 千円、営業損失 52,624 千円となりました。

(その他)

受託ソフトウェア開発等については、企業のソフトウェア投資の抑制・先送り等の影響を受けております。また、例年売上が 3 月と 9 月に集中するため、当第 3 四半期連結会計期間の 9 ヶ月間においては営業費用が売上高を上回り、売上高 32,258 千円、営業損失 2,711 千円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(単位:百万円未満切捨)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
15年9月期第3四半期	1,209	1,069	88.5	203 61
14年9月期第3四半期				
(参考)14年9月期	1,057	834	78.9	175 40

(注) 第 3 四半期連結財務諸表は当第 3 四半期より作成しております。従って前年同四半期との比較については記載しておりません。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末(平成 14 年 9 月末)と比較しますと、総資産は 152 百万円増加、株主資本は 235 百万円増加いたしました。
 資産増加の主な要因は、現金及び預金 95 百万円増加等による流動資産 126 百万円増加、工具器具備品 18 百万円増加等による有形固定資産 19 百万円増加であります。
 負債減少の主な要因は、未払法人税等 85 百万円減少等による流動負債 75 百万円減少であります。
 株主資本増加の主な要因は、平成 15 年 4 月 16 日の公募増資による収入 204 百万円であります。

3 平成 15 年 9 月期の連結業績予想(平成 14 年 10 月 1 日 ~ 平成 15 年 9 月 30 日)

(単位:百万円未満切捨)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	1,149	159	84	16 86

(注) 1株当たり予想当期純利益につきましては、予想期中平均株式数を用いて算定しております。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢、市場動向に関わるリスクや不確定要因等により変動する可能性があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

別途業績予想修正を公表しております。

以 上

四半期連結財務諸表等

(1) 第3四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第3四半期連結会計期間末 平成15年 6月30日現在		前第3四半期連結会計期間末 平成14年 6月30日現在	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%
流動資産				
1. 現金及び預金	808,759			
2. 受取手形及び売掛金	114,647			
3. たな卸資産	11,670			
4. 繰延税金資産	39,811			
5. その他	60,376			
6. 貸倒引当金	313			
流動資産合計	1,034,952	85.6		
固定資産				
1. 有形固定資産				
(1) 建物及び構築物	2,642			
減価償却累計額	546	2,095		
(2) 車両運搬具	3,627			
減価償却累計額	192	3,434		
(3) 工具器具備品	54,636			
減価償却累計額	23,095	31,540		
有形固定資産合計		37,071	3.0	
2. 無形固定資産				
(1) ソフトウェア		39,514		
(2) その他		8,683		
無形固定資産合計		48,198	4.0	
3. 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券		11,890		
(2) 繰延税金資産		44,392		
(3) その他		32,971		
投資その他の資産合計		89,253	7.4	
固定資産合計		174,523	14.4	
資産合計		1,209,475	100.0	

(単位：千円)

科目	当第3四半期連結会計期間末 平成15年 6月30日現在		前第3四半期連結会計期間末 平成14年 6月30日現在	
	金額	構成比	金額	構成比
		%		%
(負債の部)				
流動負債				
1. 支払手形及び買掛金	52,860			
2. 一年以内返済予定 長期借入金	13,201			
3. 未払法人税等	6,457			
4. 未払消費税等	4,501			
5. 未払費用	23,047			
6. 賞与引当金	29,750			
7. その他	4,786			
流動負債合計	134,604	11.1		
固定負債				
1. 長期借入金	4,875			
固定負債合計	4,875	0.4		
負債合計	139,479	11.5		
(少数株主持分)				
少数株主持分				
(資本の部)				
資本金	277,375	22.9		
資本剰余金	284,375	23.5		
利益剰余金	508,245	42.1		
資本合計	1,069,995	88.5		
負債、少数株主持分及び 資本合計	1,209,475	100.0		

(2)第3四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第3四半期連結会計期間 自 平成14年10月 1日 至 平成15年 6月30日		前第3四半期連結会計期間 自 平成13年10月 1日 至 平成14年 6月30日	
	金額	百分比	金額	百分比
売上高		785,794	100	%
売上原価		412,396	52.5	
売上総利益		373,397	47.5	
販売費及び一般管理費 1		254,075	32.3	
営業利益		119,322	15.2	
営業外収益				
1. 受取利息	40			
2. 雑収入	14	55	0.0	
営業外費用				
1. 支払利息	355			
2. 新株発行費	220			
3. 株式公開費	21,042			
4. 雑損失	299	21,917	2.8	
経常利益		97,460	12.4	
特別利益				
1. 貸倒引当金戻入額	100	100	0.0	
特別損失				
1. 固定資産売却損 2	604			
2. 固定資産除却損 3	56	661	0.1	
税金等調整前 第3四半期純利益		96,898	12.3	
法人税、住民税及び事業税	58,990			
法人税等調整額	14,182	44,808	5.7	
第3四半期純利益		52,090	6.6	

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

項目	当第3四半期連結会計期間 自 平成14年10月 1日 至 平成15年 6月30日	前第3四半期連結会計期間 自 平成13年10月 1日 至 平成14年 6月30日
1 連結の範囲に関する事項	<p>(1) 連結子会社の数及び主要な連結子会社の名称 1社 コンパスティービー株式会社</p> <p>(2) 主要な非連結子会社の名称等</p> <p>非連結子会社はありません。</p>	
2 持分法の適用に関する事項	<p>(1) 持分法を適用した非連結子会社及び関連会社の数 持分法適用会社はありません。なお、関連会社はありません。</p> <p>(2) 持分法を適用しない非連結子会社及び関連会社のうち主要な会社の名称等</p> <p>非連結子会社及び関連会社はありません。</p>	
3 連結子会社の第3四半期決算日等に関する事項	<p>連結子会社の第3四半期決算日は、第3四半期連結決算日と一致しております。</p>	
4 会計処理基準に関する事項	<p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法</p> <p>イ．有価証券</p> <p>その他有価証券 時価のないもの 移動平均法による原価法</p> <p>ロ．たな卸資産 商品・製品 個別法に基づく原価法 原材料 最終仕入原価法に基づく原価法</p> <p>(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法</p> <p>イ 有形固定資産 定率法 なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。</p>	

項目	当第3四半期連結会計期間 自 平成14年10月 1日 至 平成15年 6月30日	前第3四半期連結会計期間 自 平成13年10月 1日 至 平成14年 6月30日
	<p>□ 無形固定資産</p> <p>市場販売目的のソフトウェア 販売可能な見込有効期間（3年以内）に基づく定額法</p> <p>自社利用目的のソフトウェア 社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法</p> <p>(3) 重要な引当金の計上基準</p> <p>イ 貸倒引当金 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討して回収不能見込額を計上しております。</p> <p>イ 賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に当てるため支給見込額に基づき計上しています。</p> <p>(4) その他第3四半期連結財務諸表作成のための重要な事項</p> <p>消費税等の会計処理 税抜処理によっております。</p>	

注記事項

(第3四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 平成15年 6月30日現在	前第3四半期連結会計期間末 平成14年 6月30日現在
<p>1 担保資産及び担保付債務</p> <p>担保差入資産 定期預金 10,000千円</p> <p>債務の内容 対応債務はありません。</p>	

(第3四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結会計期間 自 平成14年10月 1日 至 平成15年 6月30日	前第3四半期連結会計期間 自 平成13年10月 1日 至 平成14年 6月30日																						
<p>1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">役員報酬</td> <td style="text-align: right;">43,124千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">給与手当</td> <td style="text-align: right;">54,283千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">11,560千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">通信費</td> <td style="text-align: right;">11,503千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">広告宣伝費</td> <td style="text-align: right;">46,725千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">減価償却費</td> <td style="text-align: right;">2,877千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">地代家賃</td> <td style="text-align: right;">9,020千円</td> </tr> </table> <p>2 固定資産売却損の内容</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;"><u>車両運搬具</u></td> <td style="text-align: right;">604千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">合計</td> <td style="text-align: right;">604千円</td> </tr> </table> <p>3 固定資産除却損の内容</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;"><u>工具器具備品</u></td> <td style="text-align: right;">56千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">合計</td> <td style="text-align: right;">56千円</td> </tr> </table>	役員報酬	43,124千円	給与手当	54,283千円	賞与引当金繰入額	11,560千円	通信費	11,503千円	広告宣伝費	46,725千円	減価償却費	2,877千円	地代家賃	9,020千円	<u>車両運搬具</u>	604千円	合計	604千円	<u>工具器具備品</u>	56千円	合計	56千円	
役員報酬	43,124千円																						
給与手当	54,283千円																						
賞与引当金繰入額	11,560千円																						
通信費	11,503千円																						
広告宣伝費	46,725千円																						
減価償却費	2,877千円																						
地代家賃	9,020千円																						
<u>車両運搬具</u>	604千円																						
合計	604千円																						
<u>工具器具備品</u>	56千円																						
合計	56千円																						

(リース取引関係)

当第3四半期連結会計期間 自 平成14年10月 1日 至 平成15年 6月30日	前第3四半期連結会計期間 自 平成13年10月 1日 至 平成14年 6月30日
当社グループは、リース取引を行っておりませんので、 該当事項はありません。	

(有価証券関係)

1 時価のある有価証券

当第3四半期連結会計期間(自平成14年10月 1日 至平成15年 6月30日)において、時価のある有価証券は保有しておりません。

前第3四半期連結会計期間(自平成13年10月 1日 至平成14年 6月30日)

2 時価評価されていない有価証券

(単位：千円)

区分	当第3四半期連結会計期間末 平成15年 6月30日現在	前第3四半期連結会計期間末 平成14年 6月30日現在
その他有価証券	当第3四半期連結貸借対照表計上額	前第3四半期連結貸借対照表計上額
非上場株式 (店頭売買株式を除く)	11,890	
計	11,890	

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間 自 平成14年10月 1日 至 平成15年 6月30日	前第3四半期連結会計期間 自 平成13年10月 1日 至 平成14年 6月30日
当社グループはデリバティブ取引を行っておりません ので、該当事項はありません。	

(セグメント情報)

1 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結会計期間(自 平成14年10月 1日 至 平成15年 6月30日)

(単位：千円)

	乗換案内 事業	マルチメディア 事業	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	666,794	86,741	32,258	785,794	-	785,794
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,612	-	-	2,612	2,612	-
計	669,407	86,741	32,258	788,406	2,612	785,794
営業費用	381,249	139,365	34,969	555,584	110,886	666,471
営業利益又は営業損失()	288,157	52,624	2,711	232,821	113,499	119,322

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

- 2 各区分の主な製品 (1) 乗換案内事業 …… 「乗換案内時刻表対応版」
(2) マルチメディア事業 …… 家庭用ゲームソフトウェア
(3) その他 …… 受託開発ソフトウェア

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用113,499千円は、提出会社の総務部門等管理部門にかかる費用であります。

前第3四半期連結会計期間(自 平成13年10月 1日 至 平成14年 6月30日)

2 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結会計期間(自平成14年10月 1日 至平成15年 6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が、90%を超えているため、記載を省略しております。

前第3四半期連結会計期間(自 平成13年10月 1日 至 平成14年 6月30日)

3 海外売上高

当第3四半期連結会計期間(自平成14年10月 1日 至平成15年6月30日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

前第3四半期連結会計期間(自 平成13年10月 1日 至 平成14年 6月30日)

(その他)

当四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表及び四半期連結損益計算書は、株式会社大阪証券取引所の「上場有価証券の発行者の会計情報の適時開示等に関する規則の取扱い」の別添に定められている「四半期財務諸表に対する意見表明に係る基準」に基づく会計監査人の手続を実施しています。